

環境経営レポート

対象期間: 2023年度(2023年7月～2024年6月)



株式会社二川工業製作所

作成日 : 2024年 8月19日

1. 環境経営基本方針

環境経営基本方針

- 1、環境経営マネジメントシステムの構築を図り、その適切な運用により、環境保護に結びつくよう継続的な改善を目指します。
- 2、弊社が行う事業活動において、環境に影響を及ぼす要因の中で、次の事を重点テーマとして取り組みます。
 - ・二酸化炭素排出量の削減
 - ・産業廃棄物排出量の削減
 - ・総排水量の削減
 - ・化学物質の適正管理
 - ・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境負荷の低減
- 3、環境に関する法律、規制及び組織が認める外部からの要求事項を遵守します。
- 4、従業員に環境教育を実施し、環境方針の理解と環境に関する意識の向上に努めます。
- 5、事業環境の変化を的確に把握し、新規顧客開拓に努めます。

制定日 2007年12月 1日

改定日 2020年 9月 4日

株式会社 二川工業製作所

代表取締役社長 二川 昌也

2. 事業活動の概要

1. 事業所名 及び 代表者

事業所名 : 株式会社 二川工業製作所
代表者 : 二川 昌也

2. 全社所在地(認証登録範囲とする)

本社/加古川工場 : 兵庫県加古川市平岡町二俣249番地1
TEL 079-437-8110 FAX 079-437-0316
二見工場 : 兵庫県加古郡播磨町東新島13番地
TEL 078-941-2669 FAX 078-941-8152
尾上工場 : 兵庫県加古川市尾上町池田1885番地の1
TEL 079-426-8530 FAX 079-426-8531
神戸工場 : 兵庫県神戸市西区見津が丘7丁目5-5
TEL 078-994-0200 FAX 078-994-0250

陵南工場 : 兵庫県加古川市野口町水足123-15
野口工場 : 兵庫県加古川市野口町水足123-27
稲美工場 : 兵庫県加古郡稲美町岡537

3. 環境管理責任者 及び担当者名・連絡先

環境管理責任者 : 山本 隆史 (二見工場 工場長)
事務局 : 大霜 宏之 (加古川工場)
担当者 : 家氏 一彦 (尾上工場)
担当者 : 川本 晃大 (神戸工場)

4. 全事業の内容(認証登録範囲とする)

建設機械装置及び部品・産業ロボット部品等の機械加工
・板金加工及び塗装・組立

5. 事業規模

規模	単位	#61期	#60期	#59期
		2023年度	2022年度	2021年度
		'23/7~'24/6	'22/7~'23/6	'21/7~'22/6
売上高	億円	86.89	136.64	106.60
従業員数	人	263	274	255
床面積	m ²	19,862	19,862	19,862

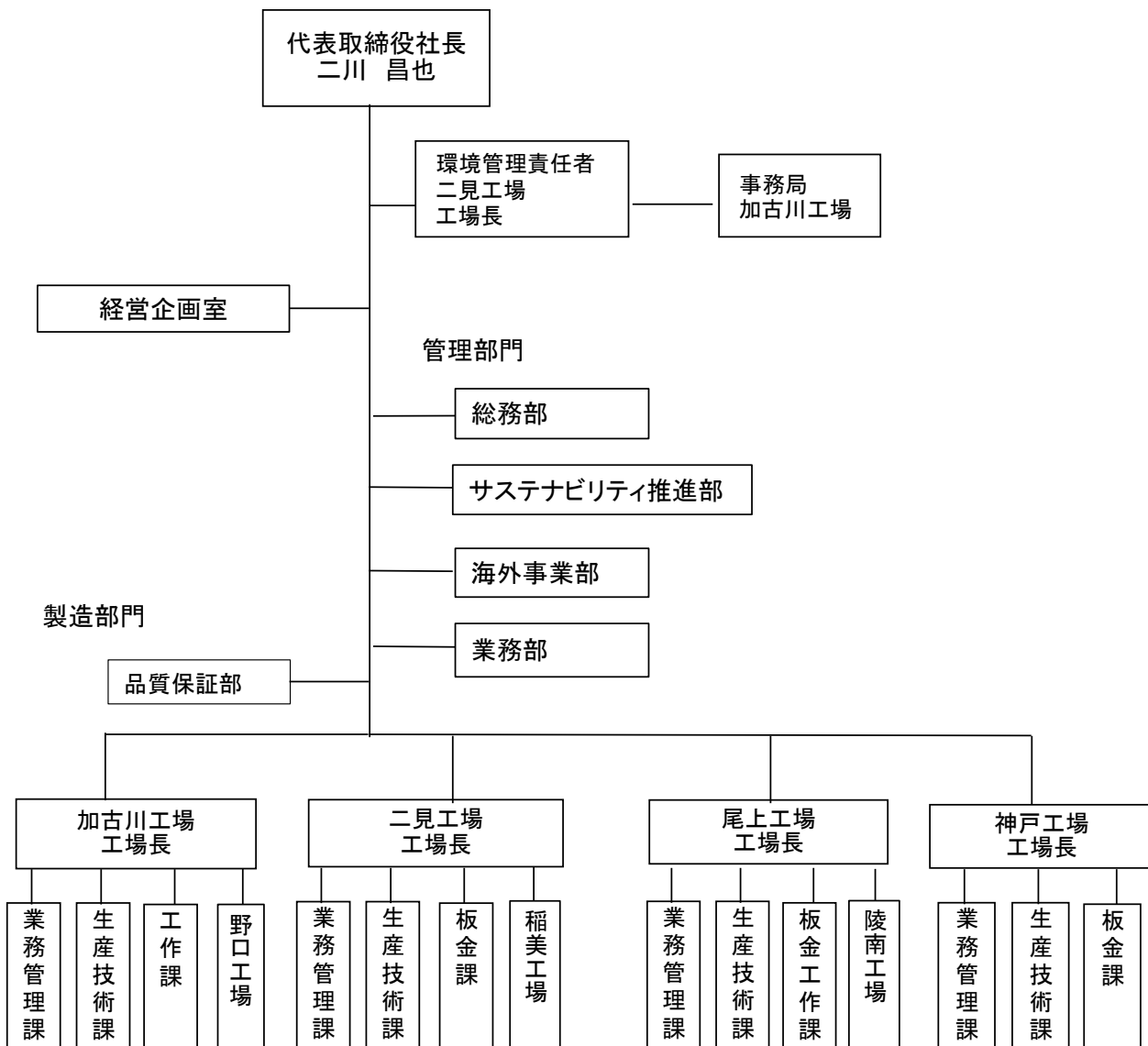
6. 事業年度

61期(2023年7月~2024年6月)

更新日: 2022年4月1日

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

3-1. エコアクション21改善推進体制



更新日:2021年7月1日

代表者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

3-2. エコアクション21改善推進体制

● 社長は実施体制における、各自の役割・責任及び権限を以下の通りさだめる。

1) 代表者

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営基本方針・環境目標の決定並びに見直し
- ・環境管理責任者を任命
- ・環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・設備・資金等)の準備
- ・環境活動計画の承認
- ・代表者による全体の評価と見直しを実施
- ・環境経営レポートの承認

2) 環境管理責任者

- ・環境経営システムを確立し、実施・維持管理を継続的に運用
- ・環境目標・環境活動計画書を確認
- ・環境教育計画の承認
- ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
- ・環境経営レポートの確認

3) 各工場長

- ・該当環境関連法規等とりまとめ表の確認・承認
- ・環境目標、環境活動計画書、環境教育の活動状況確認
- ・環境関連教育、訓練の計画策定と統括
- ・緊急事態発生時の対応と報告

4) EA21事務局

- ・環境管理責任者の補佐
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
- ・環境目標、環境活動計画書、環境教育計画原案の作成
- ・環境活動の実績集計の取り纏め
- ・該当環境関連法規等とりまとめ表の作成と遵守評価の実施
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ・環境経営レポートの作成、公開(地域事務局への送付)
- ・自らが生産・販売・提供する製品及びサービスについての環境負荷低減

5) 部門長

- ・該当環境関連法規等の遵守状況把握
- ・自部門における環境経営基本方針の周知
- ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況報告
- ・環境教育・訓練の実施
- ・緊急事態及び問題点が発生した場合、その処置と是正並びに予防処置の実施と報告

4. 環境目標 実績と計画

環境目標項目		実績値	基準年度		環境目標値（対売上比）					
			2018年度		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
			18/7～'19/6		19/7～'20/6	20/7～'21/6	21/7～'22/6	22/7～'23/6	23/7～'24/6	24/7～'25/6
原単位（量/売上）		売上高(億円)	82.85	売上高(億円)	58.89	71.96	106.60	136.64	86.89	—
二酸化炭素排出削減				低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
		基準値	41,002	目標値	40,592	40,182	4,856	39362	38952	38562
CO2排出量 2,382,410kg		kg-CO2/億円		実績値	33,622	19,181	3,554	14,148	27419	—
				低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
電力	電力使用量の削減	基準値	87,039	目標値	86,169	85,298	84,428	83,557	82,687	81,860
	使用量 4,830,677kWh	kWh/億円		実績値	85,109	79,828	58,849	50401	55595	—
化石燃料	都市ガス使用量の削減	基準値	1,591	目標値	1,575	1,559	1,543	1,527	1,511	1,496
	使用量 80,398m ³	m ³ /億円		実績値	1,504	1404	1041	883	925	—
	ガソリン使用量の削減	基準値	109.9	目標値	108.8	107.7	106.6	105.5	104.4	103.4
	使用量 5,986ℓ	ℓ/億円		実績値	82.5	89.2	52.6	49.5	68.9	—
	軽油使用量の削減	基準値	667.3	目標値	660.6	654.0	647.3	640.6	633.9	627.6
	使用量 33,168ℓ	ℓ/億円		実績値	586.8	545.9	365.7	322.6	381.7	—
	灯油使用量の削減	基準値	100.1	目標値	99.1	98.1	97.1	96.1	95.1	94.1
	使用量 2,821ℓ	ℓ/億円		実績値	56.9	71.2	65.5	24.5	32.5	—
産業廃棄物排出量の削減				低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
	廃プラ排出量の削減	基準値	272.20	目標値	269.5	266.8	264.1	261.4	334.1	330.8
	排出量 31,408kg	kg/億円		実績値	251.6	208.4	190.7	337.5	362.3	—
	木くず排出量の削減	基準値	563.5	目標値	557.9	552.2	918.9	909.7	900.6	891.6
	排出量 62,320kg	kg/億円		実績値	462.3	928.2	1,057.7	908.5	717	—
	紙の使用量の削減	基準値	26.85	目標値	26.58	26.31	26.04	25.78	25.51	25.51
	使用量 1,800kg	kg/億円		実績値	34.27	22.26	14.17	10.88	20.71	—
水使用量削減				低減目標率	-1%	-2%	-3%	-4%	-5%	-6%
	水使用量の削減	基準値	109.1	目標値	108.0	106.9	105.8	104.7	103.6	103.6
	使用量 9,747m ³	m ³ /億円		実績値	89.3	138.6	115.1	94.3	112.2	—
化学物質使用量削減			基準値	目標値	適正管理 管理値： 1台/6.97kg以下	適正管理 管理値： 1台/5.67kg以下	適正管理 管理値： 1台/5.67kg以下	適正管理 管理値： 1台/5.67kg以下	適正管理 管理値： 1台/5.67kg以下	適正管理 管理値： 1台/5.67kg以下
化学物質適正管理			1台/5.67kg以下	実績	適正	適正	適正	適正	適正 5.37kg/台	—
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み			環境への 負荷低減	目標	掘り起こす	掘り起こす	掘り起こし 情報共有	掘り起こし 情報共有	掘り起こし 情報共有	掘り起こし 情報共有
				実績	該当なし	該当なし	削減活動実施	削減活動実施	削減活動実施	—

* 購入電力の排出係数は、関西電力(0.434)を使用
* 電力料金高騰により、購入先を関西電力に変更した為、目標値を基準年(2018年)に決めた数値に戻した
* 2020年度より化学物質適正管理値を1台/5.67kg以下に変更した
* 木くず排出量の削減目標値は、2020年度の実績を基準値として、1%づつ削減する目標に変更した
* 廃プラスチック排出量の来年度の削減目標を2022年度の実績を基準値として、1%削減する目標に変更した

5. 環境活動の取組結果の評価

環境目標項目		目標値	実績	取組項目・評価	
取組項目・評価		原単位（量/売上）	2023年度	達成：○ 未達：×	評価
2023年度実績値		売上高(億円)	86.89		
二酸化炭素排出量の削減		原単位 目標値	38,952	○	二酸化炭素排出量は、電力・ガス・化石燃料使用量の削減意識が定着し、作業の効率化を促進した為、削減効果が出て、目標達成出来ている。
		排出量/売上高	27,419		
		2,382,410 kg-CO2	達成率(目標/実績)		
電力	電力使用量の削減	原単位 目標値	82,687	○	電力使用量の削減は、各工場が、作業の集約化・効率化を進めた成果、及び社員の節電意識の高まりによる成果が出ている。
		使用量/売上高	55,595		
		4,830,677kWh	達成率(目標/実績)		
化石燃料	都市ガス使用量の削減	原単位 目標値	1511	○	都市ガスは、二見・神戸工場で使用していて、両工場ともに作業効率化を進めた成果が出ている。
		使用量/売上高	883		
		80,398m ³	達成率(目標/実績)		
	軽油使用量の削減	原単位 目標値	633.9	○	トラック運行管理の徹底・フォークリフト作業者が、運転のムダを減少させたことにより削減出来ている。
		使用量/売上高	381.7		
		33,168ℓ	達成率(目標/実績)		
	ガソリン使用量の削減	原単位 目標値	104.4	○	リモート会議が定着し、社員同士の乗り合い移動等の意識の高まりが、自動車の稼働率低下に繋がり、ガソリン使用が大幅に減少した。
		使用量/売上高	49.5		
		5,986ℓ	達成率(目標/実績)		
	灯油使用量の削減	原単位 目標値	95.1	○	昨年に引き続き塗装ブース洗浄工程の作業効率化が定着し達成する事が出来ている。
		使用量/売上高	32.5		
		2,821ℓ	達成率(目標/実績)		
廃棄物排出量の削減			2023年度	達成：○ 未達：×	評価
産業廃棄物	廃プラスチック排出量の削減	原単位 目標値	334.1	×	プラスチックやビニール袋で包装された支給部品が多い為、排出量を減少させる事が出来なかった。 但し、廃プラスチックは、処分業者がサーマルリサイクルしています。
		排出量/売上高	362.3		
		31,408kg	達成率(目標/実績)		
	木くず排出量の削減	原単位 目標値	900.6	○	昨年度の支給部品の鉄製梱包への変更が、今年度にも影響を及ぼし目標達成できた。
		排出量/売上高	717.0		
		62,320kg	達成率(目標/実績)		
一般廃棄物	紙の使用量の削減	原単位 目標値	25.51	○	客先要求による紙ベースの提出物や納品書がある為に使用しているが、裏紙利用、会議のペーパーレス化、タブレット端末の利用により削減効果が出ている。
		使用量/売上高	20.71		
		1,800kg	達成率(目標/実績)		
水使用量の削減			2023年度	達成：○ 未達：×	評価
	水使用量の削減	原単位 目標値	104.7	×	洗浄工程に大量の水を使用している。生産減の影響を受けて目標達成出来なかった。 しかしながら、水使用量は昨年より25%低減出来ている。
		排出量/売上高	112.2		
		9,747m ³	目標値比		
化学物質使用量削減			2023年度	達成：○ 未達：×	評価
	化学物質適正管理	目標値	適正管理 (5.67kg/台)	○	毎月の購入量を把握し、使用量の適正管理が出来ている。 作業環境測定を実施し、作業環境管理が適切との評価を受けています。
		実績	適正 5.37kg/台		
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み		環境への負荷の低減	2023年度	達成：○ 未達：×	評価
		目標値	環境負荷削減項目	○	
		実績	削減活動実施		

* 購入電力の排出係数は、関西電力(0.434)を使用しています。

6. 環境関連法規への違反、訴訟の有無

1) 適用される主な環境関連法規

法 規 名	当社に適用される要求事項	順守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (昭和45年法律第137号)	一般廃棄物の排出を抑制、適切な処理 産業廃棄物の排出を抑制、適正な処理 産業廃棄物管理票に関する報告書の提出	○
騒音規制法（昭和43年法律第98号）	工場に置ける騒音の規制基準の遵守義務 特定施設の設置届出	○
振動規制法（昭和51年法律第64号）	工場に置ける振動の規制基準の遵守義務 特定施設の設置届出	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び 管理の改善の促進に関する法律【PRTR法】 (平成11年法律第86号)	指定化学物質等の使用、その他取扱に関する管理を行う 第一種指定化学物質の排出量等の把握・届出	○
大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）	揮発性有機化合物、粉じんの排出等を規制、 粉じん、揮発性有機化合物の排出を測定し結果を記録保存	○
エネルギーの使用の合理化等に関する法律 【省エネ法】（昭和43年法律49号）	エネルギーの使用の合理化の目的、措置 特定事業者の指定 中長期計画の作成、定期報告の義務	○
フロン排出抑制法（平成13年法律64号）	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化の遵守義務 (注)漏洩点検・記録	○

2) 違反、訴訟の有無

環境関連法規の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

関係当局からの提訴はありませんでした。

以上

代 表 者	環境管理責任者
二川昌也	山本隆史

7. 代表者の取組結果の評価及び見直し、指示

事業年度：7月～翌年6月

		評価 (2023年7月～2024年6月)	次年度取組み内容 (2024年7月～2025年6月)
環境経営基本方針		社員が、環境経営基本方針を理解し、環境負荷要因を削減する取組意識が高まり、実施出来ている。	環境経営基本方針に沿って、更なる効率化、ムダな作業の排除に取り組んで貰いたい。
実施体制		エコアクション21改善推進体制に変更なし	エコアクション21改善推進体制を維持し、変更なく推進する。
二酸化炭素排出量の削減		〈二酸化炭素の排出削減〉 目標達成 節電に関しては、ハード面での削減は無いが、あらゆる面でのムダの排除が、目標達成に至った。 購入電力の削減以上に、化石燃料の削減も順調に進んでいる。	〈二酸化炭素の排出削減〉 目標値は継続 節電、化石燃料の削減を推進する為に、生産活動の効率化、在庫縮減、物流改善等あらゆる分野での見直しを実施し削減に努める事。
購入電力の削減(節電)	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈購入電力の削減〉 目標達成 SDGsの活動や小集団活動を通して各工場の生産活動・生産工程の見直し、効率化の効果が削減実績に現れている	〈購入電力〉 目標値は継続 ・生産活動、生産工程の更なる効率化を推進。 ・工場照明をLED等への変更を検討する。
化石燃料の削減		〈化石燃料〉 目標達成 軽油は、運航計画を明確化、フォーク作業者の運転のムダを無くした結果。ガソリンは、リモート会議の定着。 都市ガスは、二見・神戸工場の作業効率の改善。 灯油は、神戸工場の洗浄工程の改善が削減に繋がった。	〈化石燃料〉 目標値は継続 ・製品運搬等の運行計画を明確にし、不要な運搬を減少させる事に努める。 ・在庫縮減、物流改善を継続し、更なる作業効率の改善を推進する。 ・都市ガス・灯油を利用する工程の効率化を推進。
廃棄物排出量の削減		全社的には、廃棄物削減の意識が向上し、良く出来ている。 SDGsの取組も繋がっている。	産業廃棄物の削減活動がマンネリ化しないように、各工場毎の意識向上活動を継続的に実施する。
廃プラスチックの削減	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈廃プラスチックの削減〉 目標未達成 顧客からの支給部品が、ビニール梱包している為に排出量が減らない。一部工場間で再利用しているが微量である。再利用の検討、促進が不十分である	〈廃プラスチックの削減〉 目標値は継続 包装材の支給は今後も続く為、再利用の促進が急務である。
木くずの削減		〈木くずの削減〉 目標達成 昨年、顧客からの支給部品の梱包を木材から鋼製に一部変更した。その成果が出ている。	〈木くず〉 目標値を継続 梱包材・パレットの再利用の促進。
紙の使用量の削減		〈紙使用量の削減〉 目標達成 社員の裏紙使用、ムダなプリントアウトの排除等の改善により削減出来ている。	〈紙使用量削減〉 目標は継続 会議資料のペーパーレス化を推進する。 タブレット化を計画的に推進する
水使用量の削減	基準年度比 ▲1% (売上高当り)	〈総排水量の削減〉 目標未達成 前年度よりは、改善できているが、未達成である。 洗浄工程・水没検査工程での、ムダな作業をしていないか再度確認する事。全社員への節水活動の徹底を行う事。	〈水使用量〉 目標値を継続 ・洗浄工程、水没検査工程のムダを省き、効率化を推進。 ・工場長5Sパトロール時の蛇口チェック ・啓蒙活動により、節水の徹底に努める事。
化学物質の適正管理	適正管理 (5.67kg以下/台)	毎月の購入量の把握が出来ており、価格管理や使用量管理にも、展開されているので、継続実施をお願いしたい。	目標値を継続 管理はよく出来ている。 継続して監視する事。
自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する取組み。環境への負荷低減		SDGsの推進が環境負荷削減活動に繋がっている。	引き続き活動を推進する事。
代表者による 全体の評価と見直し・指示		エコアクション21の活動を通して、環境負荷の軽減により経費節減にも貢献している。目標未達成の項目は、内容確認を実施し対策する事。 今後も継続して取組み目標を達成出来るように社員全員で更に取り組んで貰いたい。	環境経営方針は継続 生産工程の改善活動の展開を継続し、無駄の削減、経費節減を更に努めて欲しい 前年度未達成の項目は、更なる改善を推進する事 SDGsの推進と合わせて環境負荷の削減に努めてほしい。
是正事項	有/無	是正事項はありません	

報告者 : 環境管理責任者 山本工場長
出席者 : 二川社長、蟬塚工場長、植村工場長、中西工場長、家氏課長、川本課長、大霜社員